

彦坂 公之議員（新政

みえ）

彦坂議員は、県環境保全基金の財源となっている産業廃棄物税について、税率の引き下げを提案。県は産業廃棄物の最終処分量を抑制する効果があるとした上で「処分量の目標値に達していないため、現在の税率で運用を続ける」とした。

【県環境保全基金】

彦坂議員 産業廃棄物税の収入の見直しは、税率の引き下げの検討を。

中川廃棄物対策局長 産業廃棄物税は毎年二十三億円の税収。平成二十八年度末の産業廃棄物税分の積み立ては約十三億円となった。税制度の導入で、導入前

の九十万円から二十万に削減された。最終処分量を削減できたと考えられる。今後、県外からの搬入が減り、税収も減る見込み。県の産廃処理計画で設定した目標値の二十三万四千をまだ下回っていない。